



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 三谷セキサン株式会社
 コード番号 5273 URL <http://www.m-sekisan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 三谷 進治
 (氏名) 阿部 亨
 TEL 0776-20-3333

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	19,973	0.3	1,976	20.9	2,563	7.2	1,746	6.0
2022年3月期第1四半期	19,918	17.0	2,497	22.2	2,763	19.9	1,857	25.4

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 871百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 2,099百万円 (47.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	94.75	
2022年3月期第1四半期	96.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	101,945	67,235	64.4	3,563.77
2022年3月期	103,609	68,576	64.7	3,636.25

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 65,662百万円 2022年3月期 67,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		21.50		22.50	44.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		21.50		22.50	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,000	8.9	3,500	10.7	3,800	10.3	2,600	9.7	137.73
通期	74,000	4.3	6,050	20.4	6,550	21.8	4,400	17.3	233.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	24,986,599 株	2022年3月期	24,986,599 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	6,561,522 株	2022年3月期	6,552,522 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	18,428,077 株	2022年3月期1Q	19,164,705 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の一時的な鎮静化に伴い経済活動正常化への動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大、原材料コストやエネルギー価格の上昇による影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力製品であるコンクリートパイル業界におきましては、官公需要は減少したものの、民間需要は増加したため、業界全体の出荷量は前年同四半期比で5.1%増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は199億73百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は19億76百万円（同20.9%減）、経常利益は25億63百万円（同7.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億46百万円（同6.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コンクリート二次製品関連事業

コンクリート二次製品関連事業につきましては、主力のコンクリートパイル部門において前年同四半期に比べて需要が増加した一方で価格競争が激化する厳しい経営環境の中、販売強化に努めました。その結果、当部門の売上高は170億2百万円（前年同四半期比0.8%減）となり、営業利益は18億65百万円（同22.2%減）となりました。

② 情報関連事業

情報関連事業につきましては、ハードウェア関連の販売増加等により、売上高は15億15百万円（前年同四半期比9.2%増）となり、営業利益は63百万円（同512.9%増）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、環境衛生事業の収集運搬部門やリサイクル部門の売上が増加した一方で、施設管理部門の燃料費等のコスト増加により、売上高は14億55百万円（前年同四半期比4.3%増）となり、営業利益は2億58百万円（同16.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,019億45百万円となり、前連結会計年度末と比べ16億64百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の時価評価に伴い投資その他の資産が減少したことによるものであります。

負債合計は347億10百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億22百万円減少いたしました。これは主に、固定負債の繰延税金負債の減少によるものであります。

純資産合計は672億35百万円となり、前連結会計年度末と比べ13億41百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期及び通期業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はございません。今後、新型コロナウイルス感染症拡大など当社グループへ影響を及ぼし、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,944	39,399
受取手形、売掛金及び契約資産	20,507	18,590
電子記録債権	3,366	3,690
商品及び製品	2,480	3,208
仕掛品	26	19
原材料及び貯蔵品	1,021	1,221
その他	366	719
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	64,711	66,845
固定資産		
有形固定資産	15,405	15,543
土地	7,082	7,082
その他(純額)	8,323	8,460
無形固定資産	1,078	1,035
投資その他の資産	22,413	18,521
投資有価証券	21,268	17,396
その他	1,154	1,134
貸倒引当金	△10	△9
固定資産合計	38,897	35,099
資産合計	103,609	101,945

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,208	11,091
電子記録債務	7,706	8,093
短期借入金	36	36
未払法人税等	1,429	705
工事損失引当金	182	429
保証工事引当金	30	30
その他	6,754	6,881
流動負債合計	26,346	27,267
固定負債		
長期借入金	170	161
役員退職慰労引当金	587	598
退職給付に係る負債	1,101	1,120
保証工事引当金	107	107
建物解体費用引当金	105	105
その他	6,613	5,349
固定負債合計	8,685	7,442
負債合計	35,032	34,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,146	2,146
資本剰余金	2,259	2,259
利益剰余金	60,328	61,659
自己株式	△10,999	△11,044
株主資本合計	53,734	55,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,296	10,642
その他の包括利益累計額合計	13,296	10,642
非支配株主持分	1,545	1,572
純資産合計	68,576	67,235
負債純資産合計	103,609	101,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	19,918	19,973
売上原価	16,070	16,547
売上総利益	3,848	3,425
販売費及び一般管理費	1,350	1,449
営業利益	2,497	1,976
営業外収益		
受取配当金	212	224
為替差益	—	329
その他	64	51
営業外収益合計	276	605
営業外費用		
為替差損	4	—
撤去費用	—	9
その他	5	9
営業外費用合計	10	19
経常利益	2,763	2,563
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
役員退職慰労金	2	—
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	2,760	2,563
法人税、住民税及び事業税	962	804
法人税等調整額	△100	△32
法人税等合計	862	771
四半期純利益	1,897	1,791
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,857	1,746

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,897	1,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	202	△2,663
その他の包括利益合計	202	△2,663
四半期包括利益	2,099	△871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,059	△908
非支配株主に係る四半期包括利益	40	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	コンクリート 二次製品関連	情報関連	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	17,134	1,387	18,522	1,314	19,836	—	19,836
その他の収益	—	—	—	81	81	—	81
外部顧客への売上高	17,134	1,387	18,522	1,395	19,918	—	19,918
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	3	60	64	△64	—
計	17,138	1,387	18,525	1,456	19,982	△64	19,918
セグメント利益	2,397	10	2,407	308	2,715	△218	2,497

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△218百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	コンクリート 二次製品関連	情報関連	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	17,002	1,515	18,518	1,374	19,892	—	19,892
その他の収益	—	—	—	80	80	—	80
外部顧客への売上高	17,002	1,515	18,518	1,455	19,973	—	19,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	—	9	60	70	△70	—
計	17,011	1,515	18,527	1,516	20,043	△70	19,973
セグメント利益	1,865	63	1,928	258	2,187	△210	1,976

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△210百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。